

| 西暦 | 元号 | 主なできごと |
|-----|------|--|
| 794 | 延暦13 | 桓武、平安京遷都（山背国→山城国とあらためる）*平安時代開始 |
| 795 | 延暦14 | 雑徭半減（60日→30日）、公出挙利率減（5割→3割） |
| 796 | 延暦15 | ◇教王護国寺（東寺）創建 |
| 797 | 延暦16 | .2 『続日本紀』撰進 .9 勘解由使設置 .11 坂上田村麻呂、征夷大將軍に任命される |
| 800 | | 🌐 フランク王国のカール大帝戴冠 |
| 801 | 延暦20 | .6 畿内の班田を12年1班とする |
| 802 | 延暦21 | .1 田村麻呂、胆沢城を築き、鎮守府を多賀城より移す |
| 805 | 延暦24 | .6 最澄帰国（天台宗開く） |
| 806 | 延暦25 | .8 空海帰国（真言宗開く） |
| 810 | 弘仁元 | .3 蔵人所を設置、藤原冬嗣が蔵人頭になる .9 薬子の変（平城太上天皇の変）*北家による他氏排斥のはじめ |
| 811 | 弘仁2 | .10 文室綿麻呂、蝦夷を服属させる |
| 816 | 弘仁7 | .6 空海、金剛峰寺創建 |
| 820 | 弘仁11 | .4 弘仁格式成立（藤原冬嗣ら） |
| 821 | 弘仁12 | ◇検非違使設置 ◇藤原冬嗣、勸学院創立 |
| 825 | 天長2 | .1 冬嗣、右大臣となる .4 冬嗣が左大臣に、緒嗣が右大臣となる |
| 833 | 天長10 | .2 令義解の撰上（清原夏野ら） |
| 838 | 承和5 | .7 事実上、最後の遣唐使派遣 |
| 840 | | ◇群盗頻発する |
| 841 | 承和8 | .12 『日本後期』（藤原緒嗣ら） |
| 842 | 承和9 | .7 承和の変（伴野健峯、橘逸勢ら流罪） |
| | | 藤原北家の台頭 |
| 857 | 天安元 | .2 藤原良房、太政大臣就任 |
| 858 | 天安2 | .11 惟人親王（清和天皇）、9歳で即位、良房が事実上の摂政の任につく |

平安前期の人物史 🧑🧒

| | |
|-------------|---|
| 嵯峨天皇 | 786～842(在位809～823)第52代天皇。桓武帝の第2皇子。同母兄に平城天皇。聡明で君主としての器量を持ち、父桓武の政治改革を引き継ぐ。最澄と空海を重んじた。三筆の1人。 |
| 藤原冬嗣 | 775～826。藤原北家。薬子の変(平城太上天皇の変)に際して、嵯峨帝により蔵人頭に任命されたことが、北家躍進の基盤となる。温和で寛容。藤原一族をまとめることに心を砕いた。 |
| 藤原良房 | 804～872。冬嗣の次男。嵯峨上皇から目をかけられ、スピード出世。承和の変と応天門の変でライバル貴族を追い落とし、娘を天皇に嫁がせ、人臣初の摂政へと登りつめた。 |
| 藤原基経 | 836～891。良房の養嗣子。良房の後継者として、権勢を振るう。阿衡の紛議(阿衡事件)においては、天皇を謝罪させ、天下に藤原氏の力を見せつけた。人臣初の関白に登りつめた男。 |